

# Pioneer

Pedaling Monitor Sensor ペダリングモニターセンサー

# SGY-PM910H 取扱説明書

はじめに

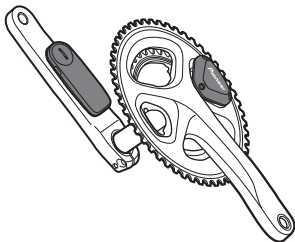
準備

接続・校正

仕様・サポート



このたびは、ペダリングモニターセンサーSGY-PM910Hをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
ペダリングモニターセンサーをご使用になる前に、必ず本冊子をお読みください。お読みになったあとは、大切に保管してください。



# 目次

## はじめに

特長 .....	3
説明書の構成 .....	3
対応部品 .....	4
安全にお使いいただくためのご注意 ..	5
使用上のご注意 .....	9
電波に関するご注意 .....	9
その他の注意 .....	10
防水性能について .....	10

## 準備

製品構成 .....	12
付属品 .....	12
電池の取り付け／取り外し .....	14
モード切り替え .....	17

## 接続・校正

サイクルコンピューターとの接続 ...	19
センサーの校正 .....	21
準備 .....	21
ゼロ点の校正 .....	21
ゼロ点の確認 .....	22
パワーメーターモードでの校正 .....	22

## 仕様・サポート

困ったときは .....	23
保証とアフターサービス .....	25
仕様 .....	26
お手入れについて .....	27
お手入れと保管について .....	27



本製品は ANT+™ に認定されています。  
互換性のある製品やアプリケーションについては、<http://www.thisisant.com/directory/> をご覧ください。

# 特長

本製品は、自転車のペダリングをリアルタイム解析するためのセンサーシステムです。ペダルにかかる力の大きさ、方向、ペダリング効率を計測します。

## 商品構成

- ・ ひずみゲージユニット：クランクのひずみを検出し、クランクにかかる力の大きさや方向を測定します。
- ・ マグネット：回転角度を検出するために使用します。
- ・ 送信機：ひずみゲージユニットとマグネットで検出された情報をサイクルコンピューターに送信します。

## モード切り替え

右送信機内部のプッシュスイッチによって、次のモードを切り替えることができます。

- ・ ペダリングモニターモード：サイクルコンピューター SGX-CA500/CA900 と組み合わせて使用すると、ペダリング効率などが計測できます。本製品の機能を最大限活用できます。  
本書では、例として SGX-CA500 と組み合わせた場合について説明しています。
- ・ パワーメーターモード：ANT+ に対応したサイクルコンピューターと組み合わせる場合は、こちらのモードでご使用ください。

## 説明書の構成

本製品の説明書は、本書「取扱説明書」と「取付・取扱説明書（WEB 編）」で構成されています。

- ・ 取扱説明書：  
本製品とサイクルコンピューターとの接続、およびセンサーの校正方法について説明しています。
- ・ 取付・取扱説明書（WEB 編）：  
<http://pioneer.jp/support/manual/cycle/sgy-pm910h/>  
より詳細な取り扱い方法を説明しています。また、参考資料として本製品の取り付け方法（販売店様向け）を記載しています。

# 対応部品

## クランクセット

本製品は、次のクランクセットに対応しています。

クランクセット	備考
SHIMANO FC-9000	• 165 / 167.5 / 170 / 172.5 / 175 mmのクランク長、50-34T / 52-36T / 52-38T / 53-39T / 54-42T / 55-42Tのクランクセットに対応。 <sup>*</sup>
SHIMANO FC-6800	• 165 / 170 / 172.5 / 175mmのクランク長、50-34T / 52-36T / 53-39Tのクランクセットに対応。 <sup>*</sup>

<sup>\*</sup> 本書では、クランク長 170 mm のクランクセットを例に説明しています。




本製品の取り付けおよび校正は専門技術、専用工具を必要とします。取り付けおよび校正を行う際は、必ず本製品の取扱店舗にご依頼ください。

# 安全にお使いいただくためのご注意



## 絵表示について

本書中では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性があり、その切迫の度合いが高い内容」を示しています。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 <b>強制</b>	このような絵表示は、必ず行っていただく強制的な内容です。	 <b>禁止</b>	このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
--	------------------------------	---	--------------------------------

## 危険

 <b>禁止</b>	本製品の取り付け、接続および校正は、専門技術、専用工具を必要とします。取り付け、接続および校正を行う際は、必ず本製品の取扱店舗にご依頼ください。ご自身での取り付けは、絶対におやめください。事故やけがの原因になります。
--	--

## 取り付け時・メンテナンス時のご注意 販売店様向け

### 警告



強制

本機取り付けには、専門の知識が必要になります。取り付け講習を受けた方が作業を行ってください。確実な取り付けを行わないと事故やけがの原因になります。

本機取り付け、接続および校正は、自転車を確実に固定して行ってください。固定されていないと自転車の転倒などにより事故やけがの原因になります。

ひすみゲージユニットをクランクに接着剤で貼り付けるときには、換気と火気に十分に注意し保護めがね、手袋をして作業してください。目やのどに刺激を感じたり気分が悪くなったら、すぐに新鮮な空気のある場所に移動し、必要に応じて医師の診断を受けてください。

本機を取り付ける時にチェーンリングやひすみゲージユニットの圧着工具などでけがをしないように注意して作業をしてください。

本機をクランクやフレームなどに取り付ける結束バンドに緩みがないように確実に固定してください。緩みがあると走行時のフレームなどとの接触により事故やけがの原因になります。

校正用の重りは、ペダル軸に確実に取り付けてください。重りの落下等により事故やけがの原因となることがあります。

マグネットを取り付けるときには、確実に固定してください。走行時の落下などにより事故やけがの原因になります。

本機取り付けが終わったあとに、ネジ、結束バンドの緩み、フレームなどとの接触がないことを確認してください。

また、本機取り付けには、専用の工具、重りが必要になります。専用の工具、重り以外を使用しますと、作業時の重りの落下、走行時の本機の脱落などにより事故やけがの原因になります。



強制

付属の部品で正しく取り付けてください。他の部品を使うと、しっかり固定できずに事故やけがの原因になります。

## 使用時のご注意

### 警告



強制

モード切り替え、電池交換は、安全な場所で自転車を固定して行ってください。自転車が転倒してけがの原因となります。

モード切り替え、電池交換後に送信機カバーは、ネジを指定トルクで確実に取り付けてください。

確実に取り付けられていないと、防水性能が確保できないだけでなく、落下して交通事故やけがの原因になります。

ネジ、ボタン電池などの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って、飲み込む恐れがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

走行前に、本機が自転車操作の妨げにならない位置に、確実に固定されていることを確認してください。特に、各部品をクランクやフレームなどに取り付けた結束バンドの緩み、各部のネジの緩みなどがいないか確認してください。確実に固定されていないと、本機の落下やフレームと干渉したりして、事故やけがの原因となります。緩みなど異常があった場合は、販売店にご相談ください。

悪路などを走行し本製品に強い衝撃が加わった場合、故障および損傷する恐れがあります。



禁止

直射日光の強いところや炎天下、高温、高湿、低温、ほこりの多い場所に放置しないでください。故障する場合があります。



禁止

絶対に本体および付属品を分解・改造・修理をしないでください。感電や故障の原因となります。

異物が入ったり、水没したり、煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のままで使用しないでください。発火の恐れがあるため、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

本機は ANT 無線通信をしています。病院内や航空機内など、通信機器などの使用が禁止されている場所に持ち込まないでください。電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。



注意



禁止

本機を水に入れたり、ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品・洗剤・化学ぞうきんなどで本機を拭かないでください。故障の原因となります。

自転車用の潤滑剤、汚れ落し剤などが本機に付着したら、速やかに完全に拭き取ってください。そのままにしておくこと故障の原因となります。

本機に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

本機を高圧洗浄機などで洗わないでください。故障の原因となります。

本機の電池端子をむやみに触ったり、変形させたりしないでください。接触不良やショートの原因となります。

## 異常発生時のお問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店が修理受付窓口にご相談してください。事故の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。



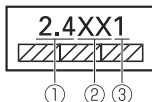
# 使用上のご注意

## 電波に関するご注意

- 本機に搭載されている特定無線設備は、電波法に基づくデータ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律により罰せられることがあります。
  - \* 分解 / 改造すること。
  - \* 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉が起こることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響をおよぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  - \* 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音がと

ぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

- \* 火災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- \* 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
- \* マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- \* 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
- \* 自動制御機器・その他、Bluetooth<sup>®</sup> 対応機器や VICS（道路交通網システム）
- \* アマチュア無線局など



- ①「2.4」 2,400 MHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ②「XX」 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ③「1」 想定される干渉距離が 10 m 以下であることを示します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

- 本機は電波法に基づく設計認証を取得しています。



□007-AB0277

認証番号は左送信機の電池カバーを外し、電池を外すと確認できます。



□007-AB0278

認証番号は右送信機のカバーを外すと確認できます。

## その他の注意

- 本機は炎天下などの高温になる場所に保管しないでください。

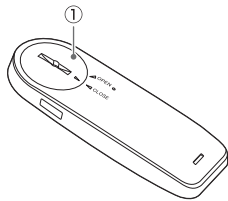
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負うことができません。
- 本書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負うことができません。
- 本機の仕様および外観は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 防水性能について

本製品はすべてのカバーを指定の条件で完全に閉じた状態で、JIS規格に定められた「水の浸入に対する保護等級」IPX6 ※ 1、IPX7 ※ 2 相当の防水性能を有しています。ご使用になる条件によっては、内部に水が浸入し、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。以下の点をご理解のうえ、本製品をご使用ください。

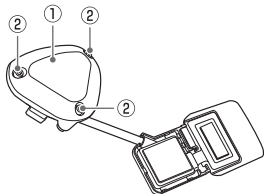
※ 1、※ 2 詳細は JIS 規格をご覧ください。

### ペダリングモニターセンサー（左）



① 電池カバー

## ペダリングモニターセンサー（右）



① 送信機カバー

② ネジ

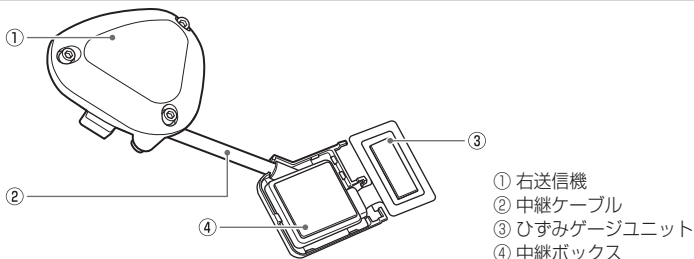
- モード切り替え、電池交換後に電池カバーを確実に閉め、送信機カバーも確実にネジで取り付けてください。確実に取り付けられていないと内部に水が浸入し、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。
- 長時間の雨や強い雨の中では使用しないでください。
- 誤った取り扱いが原因の浸水による故障は、保証対象外となりますのでご了承ください。
- 電池カバーおよびセンサーの送信機内部のゴムパッキンは定期的に交換することをお勧めします。（有償）

# 製品構成

## 付属品

本製品は、以下のパーツで構成されています。

### ペダリングモニターセンサー（右）



### ペダリングモニターセンサー本体（右）



FC-9000 用



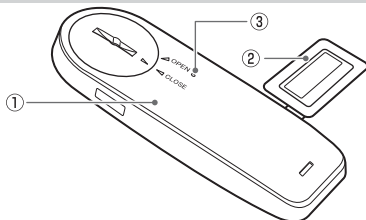
FC-6800 用

ひずみゲージユニットカバー × 各 1



チェーンリングアダプター

## ペダリングモニターセンサー (左)



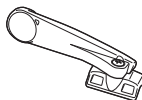
- ① 左送信機
- ② ひずみゲージユニット
- ③ LED

ペダリングモニターセンサー本体 (左)

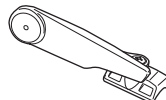
## マグネット



パッチタイプ x 2



アームタイプ (右用)



アームタイプ (左用)

## その他

- 取扱説明書 (本書)
- 保証書
- 電池 (CR2032) x 2  
(左右のセンサーに取り付けられています)
- 右送信機カバー (メタリックグレー)
- 六角ネジ (M2.6 x 8mm) x 3  
(右送信機用 x 3)
- 六角ネジ (M2.6 x 5 mm) x 3  
(右送信機カバー用予備 x 3)
- 結束バンド x 10  
(左マグネット用 x 2、右マグネット用 x 2、予備 x 6)
- アームタイプマグネット取り付け用クッション x 2

# 電池の取り付け／取り外し

本製品はあらかじめ電池が取り付けられています。電池が消耗してきたら(23 ページ)、以下の手順で電池を交換してください。

- 本製品は、他社のサイクルコンピューターと組み合わせて ANT + パワーメーターとして使用できます (以下、パワーメーターモードと呼びます)。本製品に電池を取り付けるとペダリングモニターモードで起動します。パワーメーターモードで使用する場合は、モード切り替え (17 ページ) を行ってください。電池の交換は、左右のセンサーをセットで行ってください。

準備

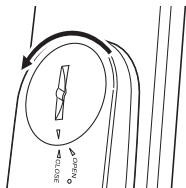
## 1 カバーを取り外す

- カバーを取り外すときは、電池の落下や紛失にご注意ください。
- 右送信機 (ネジ : 3 つ)  
六角レンチ (2mm) を使ってネジを緩め、送信機カバーを取り外します。



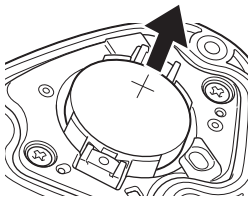
- 取り外したネジをなくさないようご注意ください。

- 左送信機  
三角の印が「OPEN」の位置に来るように電池カバーを左に回転して取り外します。

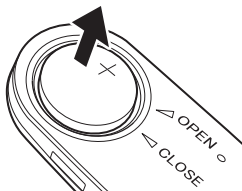


## 2 古い電池を取り外す

- 右送信機

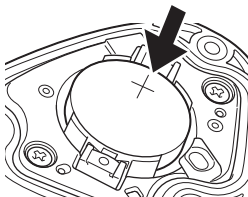


- 左送信機



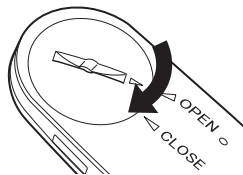
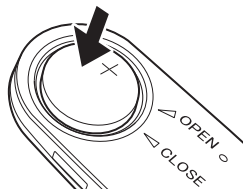
## 3 新品の電池(CR2032)を取り付ける

- 右送信機



- 左送信機

電池を入れてから、三角の印が「OPEN」の位置に来るように電池カバーを被せ、「CLOSE」の位置までカバーを回転します。



- 電池を取り付けるときは、電池の落下や紛失にご注意ください。
- CR2032 以外の電池は使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 防水性能を保つため、電池カバーは確実に取り付けてください。

## 4 LED 表示を確認する

電池を取り付けるとペダリングモニターモードで起動します。LEDが10秒間緑色に点灯することを確認します。

- 電池を取り付けて5秒以上経過してもLEDが点灯しない場合は、一度電池を取り外し、1分以上待ってから電池を入れなおしてください。それでも点灯しない場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。

## 5 右送信機カバーを取り付け、ネジを締め付けて固定する

ネジを締め付けるときは、トルク測定工具を使用してください。

- 締め付けトルク：30 cN·m
- 防水性能を保つため、送信機カバーおよびネジは確実に取り付けてください。



# モード切り替え

本製品のモードを切り替えます。

- サイクルコンピューター SGX-CA500 でセンサー校正中やフォースプレビュー表示中は、右送信機にあるプッシュスイッチを押さないでください。

## 1 右送信機カバーのネジを緩め、カバーを取り外す

- 右送信機カバーの取り外しについては、14 ページをご覧ください。

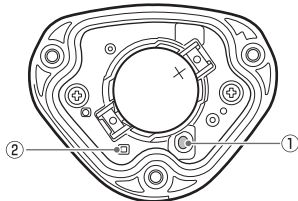
## 2 センサーを起動する

自転車のクランクセットを 3 回以上回転させて、左右の送信機を起動します。

## 3 モードを確認する

右送信機にあるプッシュスイッチを短押しすると、右送信機の LED が緑色に点滅します。その後、現在のモードによって左右送信機の LED が以下のように点灯します。

- ベダリングモニターモード：  
10 秒間緑色に点灯します。
- パワーメーターモード：  
10 秒間オレンジ色に点灯します。



① プッシュスイッチ

② LED

- 左右の送信機間で通信ができない場合は、右送信機の LED が赤色に 5 回点滅します。

## 4 モードを切り替える

右送信機にあるプッシュスイッチを2秒以上長押しすると、右送信機のLEDが緑色に点滅します。点滅を確認したら、プッシュスイッチを離してください。LEDの点滅が終わると、切り替え後のモードによって左右送信機のLEDが以下のように点灯します。

- **ペダリングモニターモード：**  
10秒間緑色に点灯します。
- **パワーメーターモード：**  
10秒間オレンジ色に点灯します。

- サイクルコンピューター SGX-CA500と接続する場合はペダリングモニターモードを、市販のサイクルコンピューターと接続する場合はパワーメーターモードを選択してください。
- プッシュスイッチを5秒以上押しなさいでください。磁石の位置を校正するモードに切り替わります。詳しくは、取付・取扱説明書（WEB編）をご覧ください。
- 左右の送信機間で通信ができない場合は、右送信機のLEDが赤色に5回点滅します。
- 電波状態により、モード切り替えに10秒程度時間がかかることがあります。

## 5 右送信機カバーを取り付け、ネジを締め付けて固定する

ネジを締め付けるときは、トルク測定工具を使用してください。

- 締め付けトルク：30 cN・m

- 防水性能を保つため、送信機カバーおよびネジは確実に取り付けてください。

# サイクルコンピューターとの接続

自転車に取り付けたペダリングモニターセンサーをサイクルコンピューター SGX-CA500 に接続します。

- 本製品を他社のサイクルコンピューターと使用する場合は、接続の方法が異なります。お使いのサイクルコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

## 1 センサーのモードを確認する

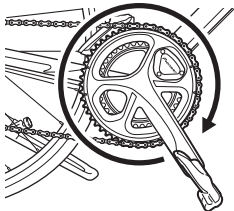
右送信機および左送信機が「ペダリングモニターモード」になっていることを確認します。

- モードの切り替えについては、17ページをご覧ください。

## 2 SGX-CA500 のホーム画面で [センサー] のアイコンをタップする

センサーリスト画面が表示されます。

## 3 自転車のクランクセットを 3 回以上回転させて、左右の送信機を起動する



- 送信機の起動後、サイクルコンピューターの接続に 1 分以上かかる場合があります。
- 送信機を起動してから 5 分以内にサイクルコンピューターとの接続を行ってください。

## 4 SGX-CA500 のセンサーリスト画面で [新センサー接続] をタップする

センサー接続メニューが表示されます。

## 5 [デバイスタイプ] - [ペダリングモニター R] の順にタップする

- 左送信機の場合は [ペダリングモニター L] をタップします。
- 複数のセンサーが起動している場合は、サイクルコンピューターを本製品に近づけるか、デバイス番号を指定して接続を行ってください。デバイス番号を指定して接続する方法については、サイクルコンピューター SGX-CA500 の「ユーザーズガイド (WEB 編)」をご覧ください。

## 6 [検索] をタップする

センサーの検索がはじまります。  
[サーチ中] しばらくお待ちください  
というメッセージが表示されます。

## 7 センサーの情報を確認する

センサーが見つかると、センサーの情報が表示されます。  
次の項目を確認します。

- [デバイス番号]  
デバイス番号が送信機のデバイス番号と同じであることを確認します。
- [エラー率]  
「OK」と表示されていることを確認します。

ペダリングモニターR	
デバイス番号	64
メーカー番号	48
エラー率	OK
バッテリー	

- デバイス番号は右中継ボックスと左センサーの側面に記載されています。詳しくは取付・取扱説明書（WEB 編）をご覧ください。
- [デバイス番号] に表示された番号が送信機のデバイス番号と異なる場合は、デバイス番号を指定して接続を行ってください。デバイス番号を指定して接続する方法については、サイクルコンピューター SGX-CA500 の「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。
- [エラー率] に「処理中 ...」と表示されている場合は、通信状態が悪化しているため、センサー情報が正しく受信されていません。接続するセンサーが起動していることを確認してから、センサーに SGX-CA500 を近づけ、再度接続操作を行ってください。
- 2.4GHz 帯電波の影響で接続できない場合があります。センサーに SGX-CA500 を近づけて接続をしても「処理中 ...」が表示される場合は、Wi-Fi などの無線 LAN 機器、電子レンジなどから十分離れたところで再度接続操作を行ってください。

以上で右送信機の接続は終了です。  
続けて左送信機の接続を行ってください。

# センサーの校正

サイクルコンピューター SGX-CA500 を使って、自転車に取り付けたペダリングモニターセンサーのゼロ点校正を行います。

ゼロ点校正とは、クランクにかかる力がゼロの点（無負荷）をセンサーのメモリーにセットする機能です。

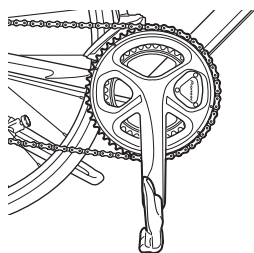
- ここでは右側のペダリングモニターセンサーを例に説明します。左側の校正方法は右側と同様です。
- サイクルコンピューター SGX-CA500 でセンサー校正中やフォースプレビュー表示中は、右送信機にあるプッシュスイッチを押さないでください。

## 準備

### 1 自転車を安全な平地に停車させる

## ゼロ点の校正

### 1 クランクアームを地面に対して垂直になる位置で止める



### 2 SGX-CA500 のホーム画面で [センサー] のアイコンをタップする

センサーリスト画面が表示されます。

### 3 [ペダリングモニター R] - [校正 (ゼロ点)] の順にタップする

### 4 [校正スタート] をタップする

校正がはじまります。

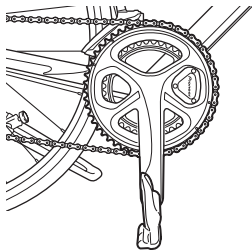
校正に成功すると、[結果] 欄に「成功」と表示されます。

「失敗」と表示された場合は、クランクが動くなど安定しない状態で校正が行われた可能性があります。クランクを静止させた状態で再度校正を行ってください。

- 本製品には、気温によるゼロ点のずれを補正する機能があります。この補正機能は、4℃以上の気温の差がある場合に校正を行うことで精度が高まります。なお、センサーが外気温に十分になじんでいない状態で校正を行うと正確に測定できません。およそ20分以上経過すると、センサーがその場所の外気温になじみます。

## ゼロ点の確認

### 1 クランクアームを地面に対して垂直になる位置で止める



### 2 SGX-CA500 のセンサーリスト画面で [ペダリングモニターR] をタップする

### 3 [フォースプレビュー] の値を確認する

[接線方向フォース]と[法線方向フォース]が次の値であることを確認します。

- 接線方向フォース：0 ± 3N
- 法線方向フォース：0 ± 3N

フォースプレビュー	
接線方向フォース	0 N
法線方向フォース	0 N

以上で右側の校正は終了です。同様に左側の校正を行ってください。

## パワーメーターモードでの校正

パワーメーターモードで校正を行う場合は、クランクアームを地面に対して垂直になる位置で止め、左右同時に校正を行います。詳しくは、お使いのサイクルコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

# 困ったときは

本製品の取り付け・取り扱いで困ったら、以下の内容をチェックしてください。  
知りたい項目がない場合は、取扱店にご相談ください。

- ペダリングモニターモードおよびパワーメーターモードでサイクルコンピューターとの接続ができない

原因	処置
電池が消耗している。	電池を取り付けて5秒以上経過してもLEDが点灯しない場合は、一度電池を取り外し、1分以上待ってから電池を入れなおしてください。それでも点灯しない場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
電池の(+)と(-)の向きを逆に 入れている。	正しい向きで電池を入れなおしてください(14ページ)。
ペダリングモニターセンサーのモードが間違っている。	モードを確認して、再度接続をしながらおこなってください(17ページ)。
近くに他の2.4GHz無線機器や電子レンジがある。	他の無線機器や電子レンジと離し、センサーとサイクルコンピューターを近づけて接続してください。
近くにある他のセンサーとサイクルコンピューターが接続している。	他のセンサーと10m以上離すか、デバイス番号を指定して接続してください。詳しくは、取付・取扱説明書(WEB編)をご覧ください。

- パワーメーターモードでサイクルコンピューターとの接続ができない

原因	処置
左右のセンサー間のペアリングが失敗している。	プッシュスイッチでモードを確認してください。左右のLEDがオレンジ色に点灯しない場合、プッシュスイッチを長押ししてパワーメーターモードに切り替えてください(17ページ)。

■ ゼロ点の校正が失敗する

原因	処置
クランクに外力がかかったり、動いたりしている。	静止した状態で校正してください (21 ページ)。

■ 走行中、サイクルコンピューターのパワー表示がずれている

原因	処置
ゼロ点校正がずれている。	フォースプレビューの値が± 3N 以上の場合は、ゼロ点の校正を行ってください (21 ページ)。

■ 走行時にカタカタ音がする。

原因	処置
センサーを取り付けているネジがゆるんでいる。	ネジを締めなおしてください。

■ 走行時にマグネットから擦れ音が出る。

原因	処置
マグネットに異物が付着して送信機や中継ボックスと擦れている。	送信機、中継ボックス、マグネットを清掃してください。



# 保証とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店へご依頼ください。販売店へご依頼が難しい場合は、修理受付窓口にてご相談ください。

## 保証期間後の修理について

お買い上げの販売店へご依頼ください。販売店へご依頼が難しい場合は、修理受付窓口にてご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 自転車からの取り外しについて

本製品の取り付け、取り外しおよび校正は専門技術、専用工具を必要とします。お買い上げの販売店にご相談いただきますようお願いいたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は弊社ご相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 仕様

質量：	約 66 g
外形寸法：	右パーツ： <ul style="list-style-type: none"><li>・ 右送信機： 58.3 mm(W) × 46.1 mm(H) × 21.3 mm(D)</li><li>・ 中継ボックス、ひずみゲージユニットカバー： 78 mm(W) × 36.7 mm(H) × 7.3 mm(D)</li></ul> 左パーツ： 92.5 mm(W) × 34.7 mm(H) × 8.6 mm(D)
防水対応：	IPX6/IPX7 相当
センサー通信方式：	ANT+ 無線
電池：	CR2032
動作保証温度範囲：	-10 ~ 50℃

- ・ ANT+ とは 2.4 GHz 帯を用いた低消費電力の無線通信規格です。詳しくは、<http://www.thisisant.com/> をご覧ください。
- ・ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- ・ この説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- ・ 本製品は、日本国内専用です。

# お手入れについて

## お手入れと保管について

- 左右の送信機、ひすみゲージユニットカバー、マグネットなどの付属品の汚れを拭き取るときは、乾いた柔らかい布、または水をつけて硬く絞った布で軽く拭いてください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変質したり、塗装がはがれたりすることがあります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。







<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **フリーコール** および **フリーコール**は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

### 修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「困ったときは」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

### 修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

#### 修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

コーバイオニア

電話: **フリー** 0120-5-81028 【一般電話】044-572-8100

FAX: **フリー** 0120-5-81029

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております

### 部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品 (付属品・取扱説明書など)のご購入について

#### 部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **フリー** 0120-5-81095 【一般電話】044-572-8107

FAX: **フリー** 0120-5-81096

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.048

## ご相談窓口のご案内

本製品の取り付けおよび校正は専門技術、専用工具を必要とします。修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

### 商品についてのご相談窓口

- 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口について

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/contact/>

※商品についてよくあるお問い合わせなど

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.048

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社

<CRA4778-A>